

日本繊維機械学会 第22回秋季セミナー 「垣根を越える新たなものづくり」

日本繊維機械学会では、産学官の繊維に関わる方々を対象に、最新情報の収集ならびに意見交換の場となることを目的として、毎年11月に秋季セミナーを開催しております。第22回となる今回は来る11月26日(木)、27日(金)の両日、大阪市の大阪大学中之島センターで開催いたします。

今回は、「垣根を越える新たなものづくり」をメインテーマとしました。古来より、「衣食住」は人間が生活していくための基礎であり、それらの重要性は時代が流れても変わりません。一方、現在の我々の生活と切っても切れないのが家電などの電気機器です。繊維業界はこれまで「衣」を中心とした展開をしてきましたが、さらなるブレークスルーを模索するには、業界の垣根を越え、更には国境を越えたものづくりの展開が必要になっていると思います。その一つの考え方として、人間の生活に密接な関係のある「衣」「食」「住」「家電」のブレークスルーには共通の考え方があるのではないのでしょうか。今回のセミナーでは、まず、特別講演に「食」「住」「家電」の観点からものづくりの現状と課題、市場拡大の戦略などについて、それぞれご講演いただきます。また、テーマ別講演では、繊維業界でホットなテーマについて、主として「越える」をキーワードとした講演をいただきます。

また、本セミナーの役割には、繊維技術交流をより積極的に進めることがあります。その役割に資するために、今回も、全国の公的試験機関の研究開発成果発表について、機器展示・ポスター展示を行います。メインテーマに掲げた通り、垣根を越えた交流の場になるかと存じます。

本セミナーが、今後のものづくりの方向性を考え、議論する場になれば幸いです。みなさまのご来場をお待ちしております。

期 日 平成27年11月26日(木)、27日(金)

会 場 大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島4-3-53)

京阪電車「中之島駅」下車徒歩約3分、<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>

内 容

第1日目【11月26日(木)】10階ホール

12.50~	開会の辞	秋季セミナー実行委員長 若松 栄史
12.55~	挨拶	日本繊維機械学会 会長 喜成 年泰
13.00~14.00	特別講演会 (1) 食品企業の変化, お客様の変化 江崎グリコ(株) 執行役員 マーケティング本部 商品開発研究所 所長 宮木 康有 戦前の日本には食品衛生法もなく、加工食品に表示もなかった。一方当時のお客様は自己の責任で食品を買い、鼻でにおいを感じながら又眼で色を見ながら食べられるかどうかを五感を駆使して判断していた。 平成に入り、米には小石が混入し無くなり、原材料表示や賞味期限が設定された。企業はひたすら安全・安心を追求し、商品回収騒ぎが当たり前の時代になった。果たして今の時代の我々は幸せなのだろうか・・・	
14.10~15.10	特別講演会 (2) 住宅づくりから<衣・食・住同源>へ 大和ハウス工業(株) 総合技術研究所 副所長 兼 農業事業推進室 室長 吉村 守 生活の基盤である<衣・食・住>の<住>提供を1955年の創業以来60年間続けてきました。様々に変化するニーズ(快適な、安心安全な、環境にやさしい等)に対応した技術開発を進め、最新の建材、住宅設備を組み込み、住む人のQOLを高めるお手伝いをしてきました。 最近の、衣とは違うイへのニーズや食へのニーズに応える住宅づくりを紹介します。	
15.20~16.20	特別講演会 (3) パナソニックの家電のDNAのものづくりと新規事業創出 パナソニック(株) 顧問 野村 剛 現在の家電事業の環境変化や、課題を整理するとともに、創業当時ヒットした自転車用ランプの事例から、パナソニックの家電のDNAをまとめます。そして、その発展形として、最近のパナソニックのものづくりの思想や取組や、新規事業の取組を紹介し、今後の繊維とエレクトロニクスのあり方について提言します。	
16.30~17.20	繊維技術交流 全国の繊維関連公設試によるショートプレゼンテーションならびにポスターセッション ショートプレゼンテーション (10階ホール)	
17.30~18.10	ポスター交流 (7階 講義室702)	
18.10~19.30	交流会 (9階 交流サロン「サロン・ド・ラミカル」) (参加無料)	

第2日目【11月27日(金)】

	A会場 (7階702室) アパレル製品による生理的アプローチ	B会場 (7階703室) 素材の常識・秘常識
9.20 10.10	靴下(下肢衣類)着用による血流量変化を中心とした生理的影響 神戸女子大学 副学長, 家政学部 家政学科 教授 平田 耕造 下肢には人体を支える多くの筋肉が存在し、人間らしい行動や運動などに大切な部位であり、姿勢変換とともに莫大な熱産生を生じる場所としても重要です。皮膚からの熱放散機能も大切であり、足部にあるAVA(動脈静脈吻合)血流、およびそれに続く静脈系の役割と靴下等の下肢着用衣類による生理的な効果について考えます。	ファッション傾向、基本となる考え方 (株)レフトバンク 取締役 岡 卓之 ファッショントレンドは、日々変化を続けています。その変化の度合い、振れ幅をどの様に認識すれば良いのか? 一流のデザイナーや歴史あるメーカーの物づくりには、必ずといってよいほど理にかなった裏付けが存在します。 人がつくる新しいファッションと現在のマーケット事情を分かりやすく、解説します。

10.15 11.05	<p>快適睡眠ニーズに応える人間科学的ものづくり (株)ワコール 人間科学研究所 研究開発課 研究員 徳光奈美子</p> <p>(株)ワコール人間科学研究所は、1964年の設立から毎年約1,000人の女性の人体計測を行い、これまでに延べ40,000人以上のデータを収集してきました。これらの実測データから発見した知識を元に、お客様のニーズに応えるものづくりを行っています。</p> <p>研究所の歴史や研究活動を紹介させて頂いたあと、弊社における人間科学的なものづくりについて「睡眠科学(ナイトウェア)」や「ナイトアップブラ」といった快適な睡眠ニーズに応える商品開発事例を通して説明します。</p>	<p>機能性色素の概要とテキスタイルへの展開 山田化学工業(株) 色材部 色材3課 課長 古賀 達也</p> <p>機能性色素は、産業資材や家庭用品など様々な分野で使用されています。</p> <p>山田化学では、機能性色素・テキスタイル用染料メーカーの強みを活かして、機能性染料としてテキスタイル用途等への展開をめざしています。</p> <p>機能性色素の概要と、実用化された製品紹介と今後の展望について説明します。</p>
11.10 12.00	<p>東レのスポーツ関連の素材開発について 東レ(株) 繊維加工技術部 テキスタイル技術室 主任部員 喜多川恒光</p> <p>東レでは、これまでスポーツ衣料、ユニフォーム、紳士・婦人服など、様々な用途の素材開発を進めてきました。</p> <p>その中でもスポーツ衣料は、着用者の快適性が強く求められる用途であり、ストレッチ性、吸水速乾性など、様々な機能性を実現させてきました。ここでは、東レの主力商品を中心とした開発商品・変遷事例を紹介いたします。</p>	<p>天然素材織物の壁紙-これまでとこれから- 小嶋織物(株) 代表取締役 小嶋 一</p> <p>内装インテリア装飾・テキスタイルの一つ、天然繊維系織物壁紙とは、壁紙業界でのシェア推移や、現在の位置づけ、織物産地：奈良県北部～京都府南部のこれまでの歴史と変化。</p> <p>これからの業界を大きく変えるデジタル印刷と天然素材壁紙の融合をはじめ、変わった素材だけでなく加工手法によって繊維素材をより活かした、価値の高い製品への挑戦。</p>
12.00 13.00	休憩	
日本繊維機械学会「技術賞」受賞講演 B会場(7階703室)		
13.00 13.25	<p>機台間通信機能を備えた紡績工程管理システム 村田機械(株) 繊維機械事業部 技術部 制御開発 主任 野間 英治</p> <p>これまでの繊維工場では、上位ホストによって工場内を管理するシステムが一般的であった。</p> <p>本紡績工程管理システムでは、上位ホストの有無に関係なく、機台間で稼働データや品質データなどを送受信することにより、工場内のどの機台からでも他の機台の状況を容易に把握することが可能となりました。今回この機台間通信機能を備えた紡績工程システムについて紹介いたします。</p>	
13.25 13.50	<p>フッ素繊維トヨフロン®を用いた高耐摩耗多重構造織物設計 東レ(株) テキスタイル・機能資材開発センター 機能資材開発室 主森 敬一</p> <p>フッ素繊維トヨフロン®は、優れた底摩擦性を有する一方で、高荷重下では摩擦破断しやすく適用範囲に制限があった。しかし、テキスタイル構造を最適化することで、従来対比耐摩耗性を飛躍的に向上させ、従来では実現できなかった高荷重化、長寿命化、メンテナンスフリー化の実現が可能となった。その新規摺動テキスタイル概要について発表します。</p>	
13.50 14.15	<p>生体を模した中わた素材の開発 倉敷紡績(株) 繊維事業部 技術部門 技術部 開発課 課長 勝圓 進</p> <p>布団やダウンジャケットなどの中わた素材は、一般的に羽毛や合繊が使用されています。</p> <p>今回開発した中わた(エアフレイク)は、羽毛の形状や特性を分析し、人工的に模倣した素材です。この中わた素材を用いた製品は、保温性や高高性能などの物性の他、洗濯が簡単にできるなどの特長について紹介いたします。</p>	
ものづくりの新次元：産業資材の最前線		
14.25 15.15	<p>三百年企業 新たな挑戦 大塚産業マテリアル(株) 取締役 営業部長 大塚 誠厳</p> <p>1700年初頭、蚊帳で創業し、戦後、自動車内装品事業を転換し、現在では、自動車シートのウレタン補強材の分野で、日本市場の6割のシェアを持つまで成長した。この分野で、顧客の要望により、これまで縫製品で対応していたものを成形品で対応を開始。</p> <p>弊社の事業転換の歴史と、弊社成形加工技術の新分野への取組を紹介いたします。</p>	<p>電池技術から鳥瞰したモバイル型からウェアラブル型デバイスへの動向 岩手大学名誉教授、岩手産業技術短期大学 校長 馬場 守</p> <p>人と外界との間で、便利な役割を担ってきたパソコンに替って、モバイル型のスマートフォンが登場して、そのエースの座を獲得しつつあるが、最近の各種センサーや電子制御回路の低消費電力化の技術革新で、ウェアラブル型デバイスに目覚ましい進展がある。デバイスのエネルギー源である電池技術を通して、ウェアラブル型デバイスの動向を解説します。</p>
15.20 16.10	<p>鉄道におけるスーパー繊維の新しい応用の可能性 (公財)鉄道総合技術研究所 車両制御技術研究部 上席研究員 上條 弘貴</p> <p>スーパー繊維には、高強度・高弾性率な特性以外にも耐熱性・難燃性、線膨張係数が負などの高い機能性を有する繊維があり、様々な応用の可能性がある。</p> <p>鉄道でも、耐震補強材料などとして応用例もあるが、さらに温度による伸縮が問題となる長尺な電線、トロリ線材料や、絶縁性を有した放熱材料など、新しい応用の可能性について紹介いたします。</p>	<p>銀メッキ導電性繊維及びそのウェアラブル応用例の紹介 ミツフジ(株) 代表取締役専務 三寺 秀幸</p> <p>当社は1956年に西陣織工場として創業し、1994年より銀メッキ導電性繊維の開発・製造・販売を進めております。近年では「IoT」、「医療・健康」分野に対する商品開発を積極的に行っており、本講では、前段に弊社の基幹製品である銀メッキ導電性繊維 AGposs®を紹介し、後段にその応用例としてウェアラブル診断装置などを紹介いたします。</p>
16.15 17.05	<p>マーケティング3.0の時代の機能性材料開発における課題 リエゾン・サポート代表、機能紙研究会 副会長 濱 義紹</p> <p>欧米技術のキャッチアップで成り立ってきた我が国経済は、バブル経済崩壊後、新たな活路を求めて、失われた20年といわれる長い期間を経過し、現在に至っている。</p> <p>現在は、様々な視点から捉えたトレンドで近未来予測をし、バックキャストの手法で未来に役立つ技術開発を、先取りしてかなければならない時代を迎えている。</p> <p>マーケティング3.0の視点で、様々な業界のトレンドを確認しながら、機能性材料開発における課題を提案します。</p>	<p>長尺 MWCNT シートを用いた薄型ストレッチャブルセンサの開発と応用提案 ヤマハ(株) 研究開発統括部 第2研究開発部 素材素子グループマネージャー 鈴木 克典</p> <p>ゴムのように伸縮し、その伸縮量に応じて電気抵抗がリニアに変化する薄型変位センサーを開発している。</p> <p>このセンサーをサポートャーやトレーニングウェアのような衣類に一体化させ、「新規ウェアラブルデバイス」としての可能性について解説し、実用化に向けた具体的な取り組みを映像やデモを交えて紹介いたします。</p>
17.05	閉会の辞	

協賛 石川県繊維協会, 大阪染色協会, カケンテストセンター, 関西ファッション連合, 機能紙研究会, 高分子学会, 繊維製品技術研究会, 繊維評価技術協議会, 富山県繊維協会, 日本麻紡績協会, 日本衣料管理協会, 日本化学繊維協会, 日本家政学会, 日本感性工学会, 日本産業皮膚衛生協会, 日本材料学会, 日本繊維機械協会, 日本繊維技術士センター, 日本繊維製品品質技術センター, プラスチック成形加工学会, 福井県繊維協会, ボーケン品質評価機構

参加費 会員 22,000 円, 協賛学協会員 22,000 円, 非会員 30,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円, 特定会員 (65 歳以上の正会員) 8,000 円 (税別)

申込 「第 22 回秋季セミナー」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加 (参加無料) の有無を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP の秋季セミナー頁より参加申込 (WEB 申込) ができます。

申込先 日本繊維機械学会 (〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail:i-love-tmsj@nifty.com)

第 22 回秋季セミナー 繊維技術交流研究試作品・指導作品・研究成果及びポスター募集

第 22 回秋季セミナーでは、垣根を越える新たなものづくりをテーマに開催いたしますが、繊維技術交流として全国の繊維関連公設試験研究機関や産地の企業の新技術開拓、新製品開発及び技術改善等の研究成果・試作品及びポスターを募集いたします。公設試験研究機関、産地の中小企業およびコラボレーションによる作品をお待ちしております。

期日 平成 27 年 11 月 26 日(木) 午後

会場 大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島 4-3-53)

内容

- (1) ショートプレゼンテーション
- (2) 作品およびポスターの前にて参加者と交流

ショートプレゼンテーション

1 件 約 3 分のプレゼンを行います。

作品およびポスター発表 (交流)

ポスターの前にて参加者と交流

定数 16 件 (定数になり次第締め切らせて頂きます)

その他 詳細は学会 HP をご参照下さい。

企画委員会

委員長	中西 康雅 (三重大学)		
副委員長	井出 潤也 (クラレ)	田上 秀一 (福井大学)	松崎 健 (ミズノ)
企画委員	伊藤 智樹 (ボーケン品質評価機構)	稲富伸一郎 (東洋紡)	潮田ひとみ (東京家政大学)
	梅木 英雄 (東レ)	奥野 智朗 (住江織物)	奥林 里子 (京都工芸繊維大学)
	岸田 恭雄 (ユニチカトレーディング)	佐藤 恵美 (帝人)	杉山 稔 (倉敷紡績)
	杉山 研志 (TMT マシナリー)	田先 慶多 (日本毛織)	筒井久美子 (村田機械)
	徳山 孝子 (神戸松蔭女子学院大学)	仲井 朝美 (岐阜大学)	伴場 秀樹 (津田駒工業)
	東山 幸央 (兵庫県立工業技術センター)	廣澤 覚 (京都市産業技術研究所)	山内 康史 (豊田自動織機)
アドバイザー	若松 栄史 (大阪大学)		
	宇治 光洋 (ダイセン (繊維ニュース))	岡 卓之 (レフトバンク)	越智 清一 (繊維評価技術協議会)
	武内 俊次 (福原精機製作所)	中村 信 (ダイキン工業)	松下 義弘 (京都工芸繊維大学)
	六田 克俊 (森田工業)		

講演会 「住環境の快適性を追求する」 ～快適に過ごす技術とその応用事例～

すでに世帯数を大幅に上回る戸数となった日本の住宅事情として、現在その「質」への転換が求められております。すなわち、「質」とは住宅そのものの「機能性」あるいはその周辺を取り巻く「住環境」を含めた暮らしの快適性を追求することに他ならない技術革新として、今や QOL（生活の質）向上にはなくてはならないものとされています。

本講演では、「質」を向上する技術に着目し、住宅そのものの快適性を評価する技術、あるいは快適性を維持しつつ省エネを達成する理想的な話についてご紹介いただきます。さらに健康にも配慮した住環境の提供、インテリアの用途展開、続いて、意外と盲点であろう空調の上手な使用など、実生活に結びつく非常におもしろい講演をご用意いたします。

いずれも非常に興味深い講演になるかと思えます。多数の方々のご参加をお待ちしています。

日時 平成 27 年 11 月 13 日(金) 13.00～17.15

会場 大阪科学技術センタービル (大阪市西区靱本町 1-8-4)

内容 予定

(1) 室内空気の質と維持管理 (13.00～14.00)

..... 畿央大学 健康科学部 人間環境デザイン学科 教授 東 実千代

(2) アレルゲン低減加工インテリア・クロスへの展開 (14.00～15.00)

..... 住江織物(株) テクニカルセンター 開発部 機能加工開発グループ 宮村 佳成

(3) エネルギー負荷をかけず、夏も冬も快適な家 (15.15～16.15)

..... (株)ミサワホーム総合研究所 取締役 副所長 栗原 潤一

(4) エアコン空調の快適性向上の取組みと上手な使い方 (16.15～17.15)

..... ダイキン工業(株) 空調生産本部 先行要素・基盤技術グループ 配川 知之

協賛 大阪染色協会

定員 40 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 10,000 円, 非会員 18,000 円, 学生会員 1,000 円, 学生非会員 2,000 円 (税別)

申込 「講演会—住環境の快適性を追求する」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

テキスタイルカレッジ予定表

テキスタイルカレッジは、海外諸国に比較して弱体化しつつあり、体系的教育がほとんど行われていなかった我が国の繊維教育に対し、本学会が持つ繊維に関する知識情報の動員機能を活用して、人材育成と技術継承を主目的とした歴史ある教育コースです。

ベテランの方々には知識の整理に、中堅の方々には情報の収集に、若手の方々には基礎知識の吸収に、テキスタイルカレッジへのご参加をお薦め申し上げます。

平成 27 年		
5 月 20 日(水)	「2 日で学ぶ布づくり」(1 日目)	10 月 23 日(金) 「染色加工応用講座」
5 月 21 日(木)	「2 日で学ぶ布づくり」(2 日目)	12 月 4 日(金) 「実習：KES による布特性の測定講座」
7 月 2 日(木)	「染色加工基礎講座」(1 日目)	12 月 8 日(火) 「合織の基礎と最新の技術」(1 日目)
7 月 3 日(金)	「染色加工基礎講座」(2 日目)	12 月 9 日(水) 「合織の基礎と最新の技術」(2 日目)
7 月 24 日(金)	「糸づくり講座」	平成 28 年
9 月 4 日(金)	「織り組み編み基礎講座」	2 月 5 日(金) 「繊維製品の品質管理と品質保証」
10 月 8 日(木)	「不織布実用講座」(1 日目)	3 月 18 日(金) 「感覚と計測」
10 月 9 日(金)	「不織布実用講座」(2 日目)	

講演会「国際繊維機械見本市 ITMA2015 (ミラノ) 視察報告」 — 繊維機械の最新動向 —

国際繊維機械見本市 ITMA2015 が平成 27 年 11 月 12 日～19 日の 8 日間、イタリアのミラノで開催されます。ご高尚の通り ITMA は 4 年に 1 回ヨーロッパで開催される世界最大規模の国際繊維機械見本市です。世界の繊維機械メーカーはこの見本市を目標に技術開発、製品開発を目指しており、この見本市に一齐にその成果が披露され、まさに繊維機械のオリンピックと呼ぶに相応しい技術交流の場です。2011 年に開催されました ITMA2011 (バルセロナ) は、出展社数約 1,355 社 (45 カ国)、来場者数は約 10 万人 (140 カ国) でした。

今回は ITMA2015 に参加される方々を講師として、国際見本市の報告を兼ね、繊維機械の最新動向について解説頂きます。世界の最新動向をつかむ絶好の機会です。関係各位多数のご参加をお待ちしています。

期 日 平成 28 年 1 月 15 日(金) 10.00～17.45

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

内 容 予定

- 開会の挨拶 …………… 日本繊維機械学会会長, 繊維機械研究会委員長, 金沢大学 教授 喜成 年泰
 (1) 全般 (10.00～10.40) …………… 福井大学大学院 工学研究科 繊維先端工学専攻 教授 田上 秀一
 (2) 合繊機械 (10.40～11.20)
 糸糸巻取関係 …………… TMT マシナリー(株) 技術本部開発部 川合 雅士
 加工機関係 …………… TMT マシナリー(株) 技術本部開発部 近田 秀和
 (3) 紡績機械 (11.30～12.10) …………… (株)豊田自動織機 繊維機械事業部 技術部 紡機技術室第 2 G 植田 大輔
 (4) 革新精紡機 (12.10～12.30) …………… 村田機械(株) 繊維機械事業部 技術部 MS チーム 主任 豊田 貴大
 (5) 自動ワインダー (12.30～12.50) …………… 村田機械(株) 繊維機械事業部 技術部 AW チーム 課長心得 高田 寛
 (6) 織機 (13.50～14.30) …………… 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 技術織機第 3 課 課長 穴田 雅
 (7) 編機 (14.30～15.10) …………… 日本マイヤー(株) 営業部 部長代理 吉田 維之
 (8) 染色加工機械 (15.20～16.00) …………… 未定
 (9) インクジェット捺染機とその最新動向 (16.00～16.40)
 …………… コニカミノルタ(株) インクジェット事業部 顧問 大野 彰得
 (10) ディスカッション (16.40～17.40) …………… 講演を頂きました講師
 閉会の挨拶 (17.40～17.45)
 (11) 交流会 (18.00～19.30)

定 員 70 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 15,000 円, 協賛学協会会員 15,000 円, 非会員 25,000 円, 学生会員 1,000 円, 学生非会員 3,000 円 (税別), 繊維機械研究会メンバー無料, 交流会別途 4,000 円

申 込 「ITMA2015 報告講演会」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加の有無を記入の上 FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

不織布研究会 (第 63 回) 研究例会

期 日 平成 27 年 12 月 11 日(金) 13.30～

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4)

- 内 容** (1) 国際繊維機械見本市 ITMA2015 視察報告—伊藤忠システック視察旅行 B コース (13.30～14.30)
 …………… 不織布研究会委員長, 不織布協会顧問 矢井田 修
 (2) フェイスマスクについて (仮) (14.40～15.30)
 …………… ダイワボウポリテック(株) 播磨研究所 不織布関連統括 主席研究員 牧原 弘子
 (3) スエード調人工皮革 Ultrasuede®の現状と今後の展開について (15.40～16.30)
 …………… 東レ(株) エクセーナ事業部 エクセーナ課 工業材料・車輻内装グループ担当課長 安東 克彦
 (4) ディスカッション (16.30～17.00)
 (5) 交流会 (17.15～18.45)

定 員 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 10,000 円, 非会員 18,000 円, 学生会員無料, 学生非会員 3,000 円
 不織布研究会メンバーは無料, 交流会参加費別途 4,000 円

申 込 「不織布研究会第 63 回研究例会」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加の有無を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

繊維リサイクル技術研究会第116回情報交換会 ～社会システム／デザイン／技術～

日時 平成27年10月30日(金) 14.00～17.00

会場 京都工芸繊維大学工織会館(京都市左京区松ヶ崎御所海道町)

内容

開会挨拶(14.00～14.10)

……繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学・未利用資源有効活用研究センター長 木村 照夫

(1) 衣料品をいかす, まわす試み“フリーフリーマーケット～捨てる神と拾う神”などの事例紹介

(14.10～15.30) ……ワークショップデザイナー, (有)ひのでやエコライフ研究所 大関はるか

(2) Precious Waste-Rubbish as a resource for sustainable products and social innovation (15.40～16.20)

……Kyoto Design Lab Project Researcher Michelle Baggerman

技術報告: 繊維リサイクルにイオン液体を用いる試み(16.20～16.50) ……京都工芸繊維大学 助教 井野 晴洋

報告事項(16.50～17.00)

懇親会(17.30～19.30)

参加費 研究会メンバー以外の方は以下連絡先へお問い合わせ下さい。

懇親会: 3,000円

申込 「第116回情報交換会」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先, ④懇親会への参加有無を記入の上, FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。

申込先・問い合わせ先 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学 木村照夫

FAX. 075-724-7863, E-mail: tkimura@kit.ac.jp

第69回年次大会

期日 平成28年6月3日(金), 4日(土)

会場 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 北へ徒歩3分)

内容 特別講演, 研究発表セッション, ポスターセッション, 製品紹介セッション, 学術奨励賞, ベストポスター発表賞, 懇親会などを予定しております。申込方法, セッション名, 各セッションのキーワード等の詳細は次号ならびにHP(<http://www.tmsj.or.jp/>)をご参照下さい。

発表申込締切 平成28年2月22日(月) 17時必着

原稿提出締切 平成28年4月11日(月) 17時必着

学術奨励賞について

すべての研究発表セッションを対象に(製品紹介セッション, ポスターセッションは該当しません), 平成28年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って優秀な口頭発表を行った登壇者(事前申請要)には日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」が授与されます。審査委員により, 提出された原稿に基づく第一審査, 第一審査を通過された場合, 当日の口頭発表での第二審査を行います。学術奨励賞とベストポスター発表賞の同一発表内容によるダブルエントリーはできませんのでご注意ください。ただし, ポスターセッション(審査対象外)へのダブルエントリーは可能です。

ベストポスター発表賞について

ポスターセッションの学術研究発表コーナーを対象に(製品紹介コーナーは該当しません), 平成28年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って優秀なポスター発表を行った登壇者(事前申請要)には日本繊維機械学会賞「ベストポスター発表賞」が授与されます。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーも可能です。ただし, 学術奨励賞とのダブルエントリーはできません。

問い合わせ先 日本繊維機械学会(第69回)年次大会実行委員会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

テキスタイルカレッジ

染色加工応用講座—繊維機能後加工・評価—

テキスタイルカレッジ「染色加工基礎講座」では、染色理論から繊維別での染色加工技術および繊維製品の品質保証に関する基礎について概説しました。「染色加工応用講座」では、基礎講座を踏まえ繊維別染色加工の応用技術だけでなく、高機能素材などの要素技術、さらにはエコ対応・環境関連技術や安全性と法規制など現在の繊維業界が抱えている課題を、繊維業界に長年携わってこられた方々によりわかりやすく解説していただきます。講義内容には、最近の技術の進歩や新たな染色加工技術へと展開についても触れていただいています。染色加工に携わっておられる方々のみならず、アパレル製品関連分野をはじめ環境関連技術分野をも含めた幅広い分野の方々を対象としていますので、多数の方々のご参加をお待ちしています。

期 日 平成 27 年 10 月 23 日(金) 10.00~18.30

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

- 内 容**
- (1) 機能加工剤 (10.00~12.00) …… 元日華化学, 金崎技術士事務所 金崎 英夫
最近の機能加工剤は機能の追求だけでなく、安全性、環境への影響を配慮して開発がなされています。ここでは近年話題になっている撥水撥油防汚加工剤、難燃剤、衛生加工剤等を中心に業界の動向や加工処方に関して解説します。
 - (2) 機能加工「ウール」(13.00~14.00) …… 元日本毛織, 日本羊毛産業協会 専務理事 長澤 則夫
ウールは元々多くの機能を併せ持っています。例えばはっ水性、難燃性、形態安定性、消臭性、セツト性などが挙げられます。しかしその性質を個々に評価すると、いずれもが機能性を訴えるには力不足なので、加工により補強しています。この点をわきまえて、加工の考え方とその事例について解説します。
 - (3) 機能加工「合織」(14.10~15.10) …… 岐セン(株) 代表取締役社長 後藤 勝則
合織及びその複合織編物の高付加価値を図る手段として機能性付与加工は、テキスタイル加工の重要な要素技術の一つである。機能性付与技術及び融合技術を染料・染色加工・後工程の各工程での考え方、加工手法などを事例に沿って解説します。
 - (4) 機能加工「綿」(15.20~16.20)
…………… 倉敷紡績(株) 繊維事業部 技術部門 技術部 開発課 課長 勝圓 進
天然繊維である綿の人類とのかかわりは歴史的に古く、適度な吸水、吸湿性や風合いの柔らかさなどの特長を生かして、今なお代表的な繊維として様々な分野で使用されています。その一方で、機能性付与についての研究開発も盛んに行われていますので、これらの動向について紹介します。
 - (5) 評価 (16.30~18.30) …… (一社)繊維評価技術協議会 参事, 日本繊維機械学会フェロー 越智 清一
我が国が得意とする各種機能性繊維の分類例、機能性試験方法の JIS, ISO 標準化提案状況を紹介したあと「清潔」「安全・安心」「快適性」および「イージーケア性」カテゴリー別の代表的な機能性について、その付与メカニズムと評価方法について解説します。

協 賛 大阪染色協会, 日本染色協会

定 員 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 15,000 円, 非会員 23,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

申 込 「テキスタイルカレッジ—染色加工応用講座」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

テキスタイルカレッジ

実習：KES (Kawabata Evaluation System) による布特性の測定講座

布の風合いの客観的評価に用いられる布の物理特性値の意味と KES-F の測定原理についての講義の後、少人数での実習を行います。実習では、KES-F (auto system ではありません) によって布の力学的特性 (引張、せん断、曲げ、圧縮特性) と表面特性を、KES Thermo-labo II によって熱・水分移動特性 (最大熱流束 q_{max} 、熱コンダクタンス、熱損失) を測定していただきます。

布の物理特性について学びたい、KES-F を持っているので測定原理を復習したいというだけでなく、基本的な測定条件を知った上で衣料用の布だけでなく触感にかかわる生活材料 (例えば不織布、皮革類、紙、フィルム、その他硬い材料など) に応用したい、様々な条件設定について知りたいなど、これまでの事例を踏まえ、触感研究への応用に関する様々なご相談にも対応します。布の物理特性を勉強する機会がなかった方や感覚の客観評価に興味をお持ちの方等を対象に、布の触感の客観評価の基本的用語等を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に触感評価にかかわる業務に携わっておられる方にも大いに役立つものと思います。

関係各位多数の方々のご参加をお待ちしています。

期 日 平成 27 年 12 月 4 日 (金)

会 場 神戸大学発達科学部

(神戸市灘区鶴甲 3-11, JR「六甲道」または阪急「六甲」下車の後、各駅北側のバス停より神戸市バス 36 系統 鶴甲団地行 神大発達科学部前 下車)

講 義 (1) KES-F による布の力学特性、表面特性および熱・水分移動特性の測定

第 1 班：10.00～11.00, 第 2 班：14.00～15.00

…………… 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上 真理

実 習 (2) 1) 布の曲げ特性、せん断特性、引張特性の測定

2) 布の圧縮特性、表面特性の測定

3) 布の熱・水分移動特性 (最大熱流束 q_{max} 、熱コンダクタンス、熱損失) の測定

1 班を 3 つに分けて、ローテーションで実習を行います。

第 1 班：11.00～13.00, 第 2 班：15.00～17.00 …………… 井上真理ならびにカトーテック(株)
必要な方は実習後に質疑等お受けします。

協 賛 大阪染色協会

定 員 第 1 班, 第 2 班それぞれ 15 名 (計 30 名) (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 10,000 円, 非会員 18,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

申 込 「テキスタイルカレッジ—実習：KES による布特性の測定」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先 (所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス)、④会員種別、⑤第 1 班、第 2 班希望順位 (申込状況により第 1 希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承下さい) を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

テキスタイルカレッジ

合織の基礎と最新の技術

合成繊維についての、合成・重合・紡糸（スーパー繊維を含む）、糸加工、製布、染色加工および特化素材について、基礎から最新の技術までを体系的に習得できるようなプログラムを企画しました。

これから繊維事業に携わる技術者にはひとつの分野の専門を有するだけでは不十分で、広い範囲の知識が求められます。本講座はこのようなニーズにも応えられるものと確信しています。

講義にはできるだけ現物（サンプル）を提示するようにし、質問にも答える時間を設けていますので、この機会に多数の方々のご参加をお待ちしています。

日時 平成 27 年 12 月 8 日(火)、9 日(水) 10.00~17.10

会場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28 号出口北へ徒歩 5 分）

内容

第 1 日目【12 月 8 日(火)】

- (1) 化合織概論 (10.00~12.00) …………… 山崎技術士事務所 代表 山崎 義一
— 種々の化学繊維の概要を説明し、その技術史ならびに産業論を含めて解説します。
- (2) 合成繊維のモノマー、重合、ポリマー、化学改質 (13.00~15.00)
…………… 名古屋大学名誉教授、名古屋産業科学研究所 上席研究員 小長谷重次
— 3 大合織とポリウレタンを対象としたモノマー、重合、ポリマー、化学改質について解説します。
- (3) 合成繊維の繊維化プロセス、構造と物性の関係 (15.10~17.10)
…………… 龍谷大学 REC、P&P リサーチ代表、日本繊維機械学会フェロー 石原 英昭
— 紡糸工学の概要を説明し、特に熔融紡糸、乾式紡糸などの実際例を紡糸挙動、繊維構造、物性などと関連づけて解説します。

第 2 日目【12 月 9 日(水)】

- (4) 合成繊維の高次加工—糸加工、製布 (10.00~12.00) …………… 日本繊維技術士センター 藤田 隆嘉
— 合成繊維フィラメントの高次加工としての仮撚、エア加工、撚糸および混織・複合を含む糸加工の目的、手法、効果、それを生かす製布の概要について解説します。
- (5) 合成繊維の高次加工—染色加工 (13.00~15.00) …………… 日本繊維技術士センター執行役員 嶋田幸二郎
— 合成繊維の染色技術および染色加工工程での高付加価値加工や繊維性付与技術について、原糸開発との関連において、その基礎知識と最近の技術動向を解説します。
- (6) スーパー繊維とその用途展開 (15.10~17.10)
…………… 東洋紡(株) 機能材開発研究所 所長 寺本 喜彦
— 近年、スーパー繊維として脚光を浴びている有機系の高強度・高弾能率繊維を中心に、その基本から最近の用途開発事例について解説します。

協賛 大阪染色協会、日本化学繊維協会

定員 30 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

参加費 会員 25,000 円、非会員 33,000 円、学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円（税別）

申込 「テキスタイルカレッジ—合織の基礎と最新の技術」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

テキスタイルカレッジ**繊維製品の品質管理と品質保証**

製品と消費者を結ぶ基本的な繊維製品の品質を管理するための品質評価基準と試験方法、そして製品に影響する紡績・紡糸、編織工程での糸、布の品質欠点に関する講座を開催します。

基本的な生地の物性の評価基準と試験方法についてニッセンケン品質評価センターから、機能性試験の内容と評価基準について繊維評価技術協議会から、製品クレームの事象と対策例についてボーケン品質評価機構から解説していただきます。また、消費者に直接届く最終製品のみならず、紡織、織、編の各工程における糸、織物、編物の品質評価とそれらの欠点が最終製品の品質に及ぼす影響等について、村田機械(株)、TMT ソリューションズ(株)、津田駒工業(株)、尾張繊維技術センターから解説いただきます。技術分野の初心者の方々だけでなく、営業の方々にとっても重要なポイントかと存じます。多数の方のご参加をお待ちしています。

日時 平成28年2月5日(金) 10.00~18.20

会場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内容 予定

- (1) 生地の物性・堅牢度の一般的基準や試験方法の説明 (10.00~11.10)
..... (一財)ニッセンケン品質評価センター 東京事業所 研究開発課 課長 木内 智
- (2) 機能性試験の内容と評価基準 (11.15~12.25)
..... (一社)繊維評価技術協議会 大阪支所参事, 日本繊維学会フェロー 越智 清一
- (3) 製品クレームの事象と対策例 (13.15~14.25)
..... (一財)ボーケン品質評価機構 開発部 課長 加茂 春樹
- (4) 溶融紡糸長繊維生産品の品質欠点について (14.30~15.30)
..... TMT ソリューションズ(株) 第1ソリューション部 中田 賢一
- (5) 紡績工程における品質欠点と最終製品への影響 (15.30~16.30)
..... 村田機械(株) 繊維機械事業部 松本 龍守
- (6) 織物工程における品質欠点と最終製品への影響度 (16.40~17.30)
..... 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 技術織機2課 伴場 秀樹
- (7) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響度 (17.30~18.20)
..... あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 田中 利幸

協賛 大阪染色協会

参加費 会員 15,000円 非会員 23,000円 学生会員 3,000円, 学生非会員 5,000円 (税別)

参加費 30名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

申込 「テキスタイルカレッジ—繊維製品の品質管理と品質保証」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

問い合わせ先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

ナノファイバー研究会第20回研究例会

期日 平成27年12月18日(金) 午後

会場 信州大学 繊維学部 (長野県上田市常田3-15-1)

内容 詳細は学会 HP (<http://www.tmsj.or.jp/>) ならびに次号をご参照下さい。

ナノファイバー研究会第21回研究例会

期日 平成28年1月29日(金)

会場 東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター (東京都港区芝浦3-3-6)

内容 詳細は学会 HP (<http://www.tmsj.or.jp/>) ならびに次号をご参照下さい。

東海支部 **繊維講演会**

期日 平成 27 年 11 月 6 日(金) 13.30~17.00

会場 岐阜県産業技術センター 3F 講堂 (岐阜県羽島郡笠松町北及 47)

内容 (1) 繊維製品開発における感性工学の活用 …… 信州大学 繊維学部 教授 上條 正義
 繊維製品開発において、「快適性」や「感性」が重要なキーワードとなってきています。快適な製品を作るには、製品の物理的性能(強度特性、通気性、保温性等)だけでなく、実際に人が心地よく感じるかどうか、感性面から客観的に把握することが有効です。そこで、本講演では、心理生理反応計測による快適性評価とその活用について講演します。
 (2) 繊維事情と繊維用機能加工剤の動向 …… 元日華化学、金崎技術士事務所 金崎 英夫
 繊維産業のグローバル化が進む中、繊維用機能性加工剤についても、安全性や環境への配慮が非常に求められています。本講演では、このような環境下での機能性加工剤の開発動向や機能性について、撥水加工剤、難燃加工剤、防汚加工剤、衛生加工剤等を中心に講演します。

共催 日本繊維機械学会東海支部、岐阜県産業技術センター、尾州テキスタイルデザイナー協会、日本毛織物等工業組合連合会

参加費 無料、定員になり次第締め切らせていただきます。

申込 ①企業機関名、②住所、③ TEL、FAX、④所属等、⑤氏名を明記し、FAX にて 10 月 29 日(木) までに申し込み下さい。

申込先・問い合わせ先 岐阜県産業技術センター 繊維部 林、中島
 TEL. 058-388-3151, FAX. 058-388-3155

東海支部 **講演会 「材料表面改質トリアルコア」**

期日 平成 27 年 11 月 11 日(水) 14.00~15.30

会場 あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター 3 号館 4 階研修室 (一宮市大和町馬引字宮浦 35)

内容 表面構造を利用したバイオミメティック液体操作—撥水・吸着・液輸送・ガスバリアー
 …… 名古屋工業大学工学部 生命・物質工学科 准教授 石井 大佑
 生物が持つ機能・構造を応用してものづくり等に生かすことをバイオミメティック(生物模倣)といいます。生物表面と類似した微細な表面構造とその表面改質により得られる特異な液体操作について詳しく説明します。

共催 日本繊維機械学会東海支部、あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター、一宮地場産業ファッションデザインセンター、愛知県繊維振興協会

参加費 無料

申込 「東海支部一講演会材料表面改質トリアルコア」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先(所在地、電話番号)を記入の上、E-mail にて下記宛お申し込み下さい。

申込先 〒491-0931 愛知県一宮市大和町馬引字宮浦 35
 TEL. 0586-45-7871, E-mail: owari-kikaku@aichi-inst.jp

東海支部 **若手繊維研究会 (第 29 回)**

期日 平成 27 年 12 月 12 日(土)

会場 金城学院大学 N1 棟 6F, 情報交換会 N1 棟 食堂 (名古屋市守山区大森 2-1723)
 名鉄瀬戸線大森金城学院前駅下車、山手(北)方向に徒歩 5 分

内容 一般研究発表、情報交換会

共催 日本繊維機械学会東海支部、繊維学会東海支部、日本繊維製品消費科学会東海支部

参加費 1,000 円(発表者、学生は無料)、情報交換会費 3,000 円(学生は 1,000 円)

参加申込 氏名、所属、連絡先(郵便番号、住所、電話番号、E-mail アドレス)をご記入の上、E-mail または FAX で、以下の申込先に 12 月 5 日(土) までにお申し込み下さい。

申込・問い合わせ先 日本繊維製品消費科学会東海支部 青山喜久子
 〒463-8521 名古屋市守山区大森 2-1723 金城学院大学生活環境学部
 TEL. 052-798-7408 (直通), FAX. 052-798-0370 (事務), E-mail: aoyama@kinjo-u.ac.jp

平成 28 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」募集

平成 28 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」の公募を行いますので、下記の要領により奮ってご応募下さい。

「技術賞」は繊維ならびに繊維機械に関する研究または技術開発のなかで、創意があり技術的に高い価値を有するものに対し贈賞するものです。受賞資格は本学会の会員であり、前述の業績を挙げた研究者、技術者個人またはおおむね 6 名以内のグループとします。また、原則として、5 年以内の技術を対象とします。

応募される方は、下記の提出書類を平成 28 年 1 月 15 日(金) 必着で、下記の申込先宛送付して下さい。

提出書類 次の書類を 2 部 (正 1 部, 副 1 部, 副は複写も可) 提出して下さい。

- (1) 技術賞応募用紙 (所定の書式の用紙。学会 Web サイトからダウンロードするか、学会事務局までご請求下さい)
- (2) 応募業績に関する参考資料 (参考資料例: 特許, 図面, 新聞記事, 納入実績リスト, カタログ, 技術資料など)

選考方法

- (1) 一次選考 (書類審査) により選抜された業績について、二次選考 (現地調査) を行います。
- (2) 二次選考は、必要に応じて応募者の対象技術が実在し、稼働しているのか等の確認のため「現地調査ならびに口頭説明審査」を行います。

二次選考の実施時期につきましては、当該者へ後日連絡します。

その他

応募書類は選考の資料としてのみ使用し、選考終了後一定期間保管し安全に破棄します。

応募締切

平成 28 年 1 月 15 日(金) 17 時必着

申込先ならびに問い合わせ先

日本繊維機械学会 技術賞選考委員会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

参考資料

過去 3 カ年の「技術賞」受賞者一覧

・平成 25 年度受賞技術

「次世代環境調和型電子写真方式デジタルプリントシステム」

..... 京都市産業技術研究所 早水 督, 廣澤 覚
長瀬産業(株) 大裕 一宏, 岡本 和巳
桂川電気(株) 田代 雅也, 山崎 誠

「高機能競泳用水着」..... (株)アシックス 森 洋人, 勝 眞理, 西脇 剛史

「高速紡績機の糸たるみ吸収装置の開発」

..... 村田機械(株) 平尾 修, 上田 健一, 重山 昌澄, 八木 宏幸

・平成 26 年度受賞技術

「バット染料による綿ニット染色用液流染色機の開発」

..... (株)日阪製作所 清水 徹, 五反田一志, 白石 健二
(株)ワコウナレッジ 若生 寛志
福井大学 中根 幸治

「製織・縫製同時生産システムを目指したスワイベル織装置の開発」

..... (株)片山商店 小紫 和彦, 片山 象三
兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 古谷 稔, 東山 幸央
サイエンティフィックテクノロジーズ(有) 村尾 良男
神戸大学 井上 真理

・平成 27 年度受賞技術

「高耐摩耗多重構造織物設計」..... 東レ(株) 主森 敬一, 二ノ宮有希, 土倉 弘至

「機台間通信機能を備えた紡績工程管理システム」

..... 村田機械(株) 林 茂, 野間 英治, 西山 能弘
「生体を模擬した中わた素材の開発」..... 倉敷紡績(株) 小沢 一郎, 大西 浩一
タイ・クラボウ(株) 山内 一平
イシケン(株) 石川 和延

平成 28 年度日本繊維機械学会賞「学術賞」募集

平成 28 年度日本繊維機械学会賞「学術賞」の募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

「学術賞」の贈賞についての受賞資格は、本学会の会員であり、Original Paper を多数発表した新進の研究者を対象とします。「多数」とは、JTE (Journal of Textile Engineering, 本学会論文集) に掲載された Original Paper が「5 編以上」とします。また、「新進の研究者」とは、年齢が平成 28 年 3 月 31 日現在で、満 40 歳未満の者となります。応募される方は、下記の書類を添えて、平成 28 年 2 月 5 日(金) 必着にて、下記宛送付して下さい。

次の内容に明記された書類一部(様式は自由)

- 提出書類**
- (1) 氏名ならびに生年月日
 - (2) JTE に掲載された論文一覧(著者名全員、発行年、題目、巻号、初頁—終頁)
 - (3) 推薦書(自薦、他薦にかかわらず 400 字以内)

申込先 日本繊維機械学会 学術賞選考委員会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

第 14 回企業心理と消費者心理研究会公開講座のご案内

第 14 回目の公開講座は神戸国際大学経済文化研究所主催、日本繊維機械学会：企業心理と消費者心理研究会後援で開催させていただきます。これは、神戸国際大学プロジェクト XX「結婚観の歴史の変遷と多様性に関する学際的研究」の成果のひとつでもあります。

神戸を拠点にブライダル業界の第一線で活躍するプロフェッショナルを招き、少子化・晩婚化・非婚化の現状、また国際化や多様化という環境の変化を見据えて、私たちが直面している課題について徹底討論し、今後の可能性を多面的に探ります。ぜひお越し下さい。

特別フォーラム *Kobe Wedding Forum 2016*

日時 平成 28 年 2 月 13 日(土) 13.00~16.20

会場 神戸国際大学 六甲アイランドキャンパス
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中 9-1-6, TEL. 078-845-3344
JR 住吉駅下車、六甲ライナー乗り換え、マリパーク駅下車、徒歩 3 分

内容 趣旨説明 (13.00~13.10)

第 1 部 基調講演 (13.10 ~ 14.00)

これからの結婚とブライダル業界の展望 株式会社フェイス 代表取締役 福永有利子

第 2 部 パネルディスカッション (14.10~15.30)

神戸ブライダルの強み&ブライダル業界の課題と展望

..... パネリスト：株式会社フェイス 代表取締役 福永有利子

株式会社ポートピアホテル 婚礼部長 吉備 由佳

ケント株式会社 代表取締役 萩原 宏宗

コメンテーター：神戸国際大学経済学部 教授 桑田 政美

神戸学院大学経営学部 教授 辻 幸恵

コーディネーター：神戸国際大学経済学部 教授 中矢 英俊

第 3 部 バレンタインコンサート (15.50~16.20)

..... 演奏：神戸国際大学オルガニスト 伊藤 純子

曲目：「愛の挨拶」、「いつか王子」、「行進曲」他

申し込み・問い合わせ先 ①神戸国際大学 経済文化研究所 TEL. 078-845-3344

②神戸学院大学経営学部 辻 幸恵 yukiecat@vega.ocn.ne.jp, FAX. 078-871-2413

その他 無料ですが、先着順になります。定員を超えた場合はお断りいたします。